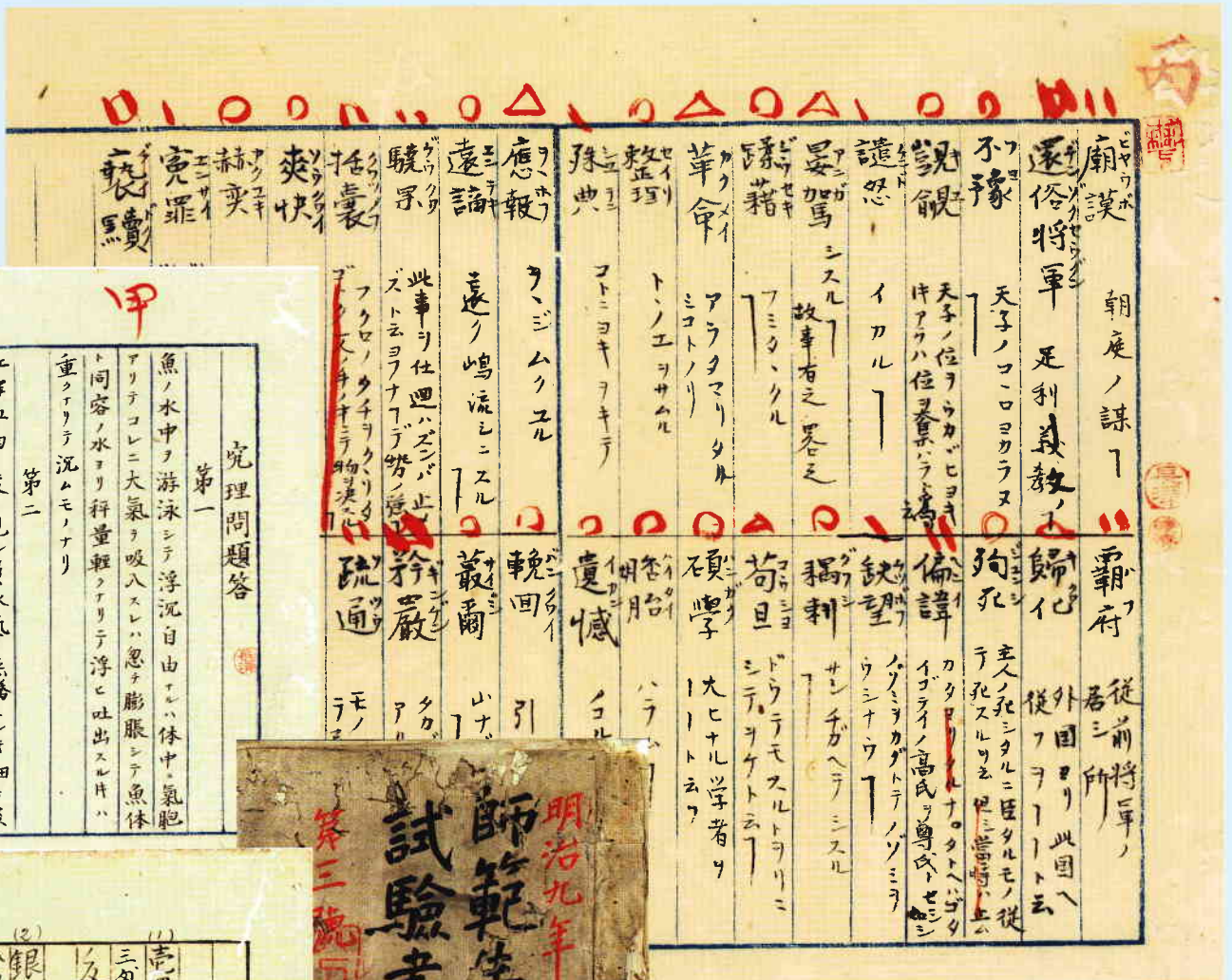




Archives  
&  
Archivist

「AR」はアーカイブスとアーキビストの頭2字をとり、歴史情報を守り未来に生かすさがけの使命を表しています。

大分県公文書館だより  
平成19年3月 第14号



**究理問題答**

第一  
魚ノ水中ヲ游泳シテ浮沈自由ナルハ体中ニ氣胞アリテコレニ大氣ヲ吸入スレハ忽チ膨脹シテ魚体ト同容ノ水ヨリ秤量輕クテ浮チ吐出スル片ハ重クテテ沉ムモノナリ

第二  
紅雲血雨ノ変ヲ見ル者ハ水氣ノ蒸騰スル片細キ炭或ハ些少赤モノヲ含ミタル蒸氣ト混合シ冷際ニ至リ凝聚シテ降ルモノカ又ハ水氣ノ冷際ニ至リ凝

**數學問題**

(1) 高貫九百四十目、借銀アル方一尺、付代銀三匁、及物七丈七尺、遣ハシ又一尺、付二匁、及物二丈一尺、遣ハシ、トシテ差引、若クハ高貫六百六十七目

(2) 銀二十七貫、目ヲ以テ球ヲ鑄、毎球重ハ八匁五分トシ、總計、若クハ

(3) 算數アリ、其數ヲ知ラス、只云、其千、其千、其千

明治九年  
師範生徒卒業  
試験書類

**明治期 師範学校生徒卒業試験**

公文書館では、明治と大正と昭和戦前期における県内の小・中等学校、師範学校をはじめ、広島高等師範学校や県費派遣制度のあった東亜同文書院等の入学試験や学力試験等の試験問題の一部を所蔵しています。これらの試験問題は、教育制度の改正史料などとともに、明治と昭和戦前期におけるわが国の社会・教育情勢を知る上での貴重な史料といえます。



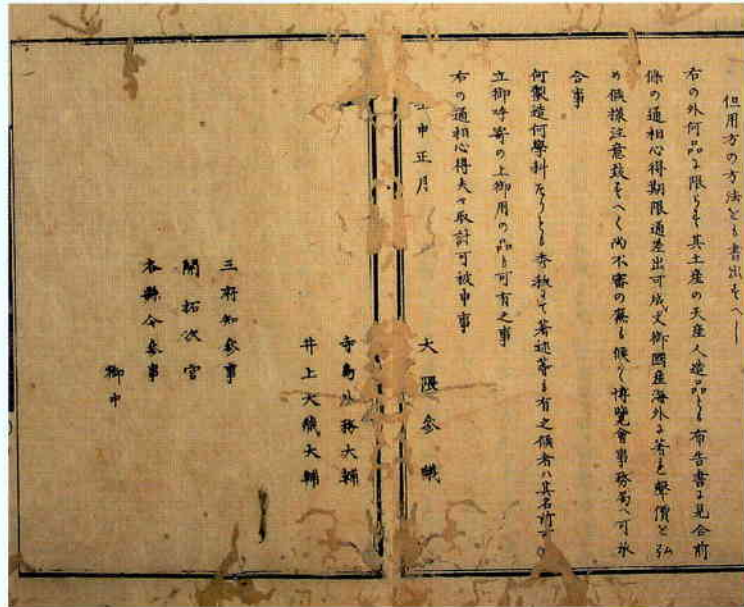
# 大分県近代殖産興業の歩み

平成十八年十二月九日から同十九年二月二十八日まで、豊の国情報ライブラリー（県立図書館・先哲史料館・公文書館の総称）企画展「豊の国のお宝史料」が開催され、当館は明治維新後、国家として海外博覧会に初めて参加した「ウィーン万国博覧会」に大分県が出品するまでの政府とのやりとりや、これを契機とした大分県近代の殖産興業の歩みを「明治初期」から「昭和初期」までの主要産物を比較するかたちで展示紹介しました。以下、その一部を、大分県と政府とのやりとりに焦点を当てて紹介します。



「官省達留」辛未・壬申  
「官省進達留」壬申一月 六月  
「官省達留」明治六年

## ウィーン万国博覧会への出品物 差出しについて布達する



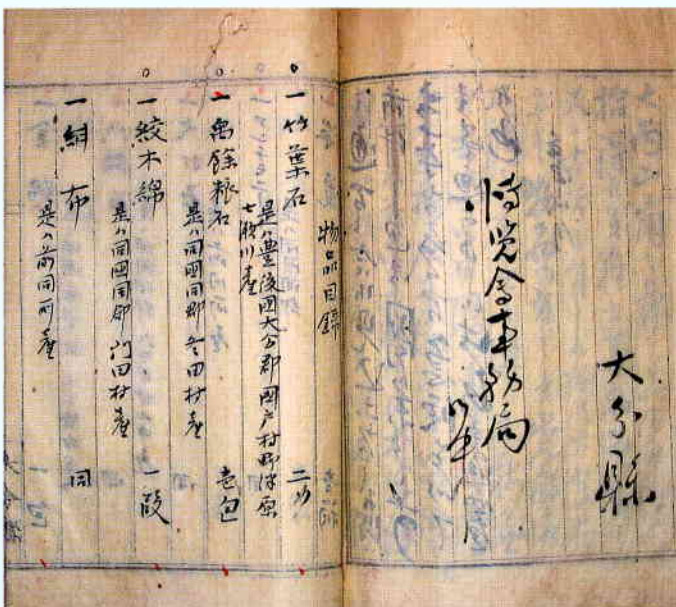
「官省達留」辛未・壬申

明治六（一八七三）年五月から同十一月にかけて、オーストリアの首都ウィーンで開かれた万国博覧会。同四年十二月、参議大隈重信、外務大輔寺島宗則、大蔵大輔井上馨が博覧会御用掛を兼ね、翌五年二月、正院に博覧会事務局を設け、十月大隈が総裁を兼務して準備を始めた。政府はまだ財政的基盤が確立していなかったこの時期に、巨費を投じて事業を遂行し、巨額な

出品をした。ウィーン万国博覧会は、明治維新後、国家として海外博覧会に参加した最初であり、その後の産業発展に先駆的役割を果たした。当時の為政者の殖産興業政策に対する意気込みが窺われるとともに、生産技術の急激な進歩によつて、内国勧業博覧会・共進会（産業技術交流のための展示会・集会）事業の端緒ともなった。

## 大分県出品の「物品目録」を 博覧会事務局に提出する

（具体的な物品及び産地・数量を記す  
六月十五日付け）



「官省進達留」壬申一月 六月



# 大分県出品の再調査を布達する

(大分県(豊後域) 出品物産一覽表の添付あり)

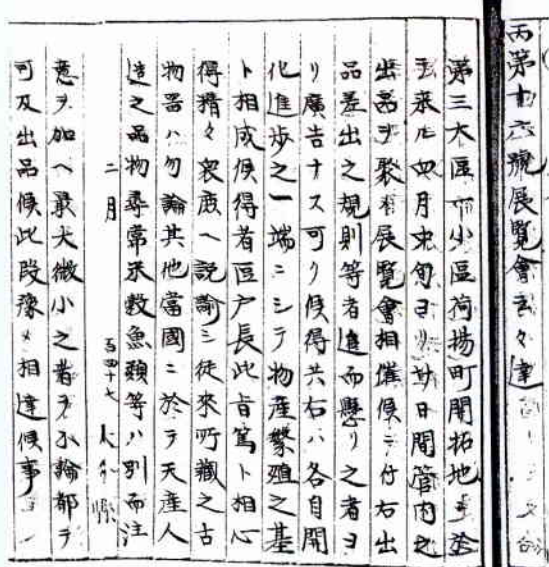
大分県がウイーン万国博覧会に出品した産物は、鉱物・植物・動物・製造物(繊維製品)等三八品目である。この中で、鉱物が二二品目にのぼり過半数を占めているが、国からの指示が「国産と称すべき程の品」ではないものの、「名産にて他所希有の品」を出品することであったから、むしろ、県内の主要産物というよりも、特産物であるといえる。しかし、これらの出品物のうち、現在、正確な産物名を確定できないものがある。なお、これらの産物以外に、『縣治概略』『達書留』等の公文書によると、平野五岳や帆足杏雨の書画も出品されており、大分県の文化も世界に紹介されていることが分かる。



「官省達留」明治六年

# 大分県展覧会の開催を

管内に達す



「縣治概略」第七

明治初期の大分県の産物は、手を加えない自然の産物が主力であった。しかし、万国博覧会への参加や内国勸業博覧会・共進会の開催などの政府の殖産興業政策のもと、大分県も近代産業育成に力を注いだ。養蚕や紅茶製造を奨励したり、展覧会社を興し、第三大区第一小区荷揚町開拓地(大分市)で展覧会を実施している。出品物の売買もでき、営商の指導を展覧会社が行った。ウイーン万国博覧会出品から二年後のことであり、万国博覧会参加が展覧会実施の起爆剤となったといえる。



# アーカイブズ実習の 協力施設として

全国に先駆けて設置された「別府大学アーカイブスト養成課程」は、文学部史学科及び文化財学科の二年次修了者の中から三十名が選抜されています。この「アーカイブスト養成課程の実習施設」として当館が協力しており、平成十八年度は九月十四日から九月二十二日にかけて十名づつ三班編成で、それぞれ二日



間にわたり、資料収集後からレファレンス業務に至るまでの流れを実際に即した形で体験してもらいました。

特に「収集資料を検索システムに登録するための入力表の作成」実習として「大正期の公文書と昭和初期の県報」を登録整理する作業や「来館利用者が求める情報や資料」を想定問題で提示し検索システムを使って、学生個々が実際にその情報を導き出せるかという窓口検索作業を通じてのレファレンス業務を体験してもらいました。

## ～利用案内～

### 利用時間

午前9時～午後5時

### 休館日

日曜日、月曜日

国民の祝日（日曜日又は月曜日と重なった場合は火曜日）

年末年始（12月28日～1月4日）

特別整理期間（年2回）

発行日 平成19年3月31日

### 編集・発行

大分県公文書館

〒870-0814 大分市駄原587-1

TEL 097-546-8840

FAX 097-546-8849

ホームページ <http://www.pref.oita.jp/11103/>

メールアドレス [a11103@pref.oita.lg.jp](mailto:a11103@pref.oita.lg.jp)

## 案内図

